

日本社会開発基金(JSDF)は、 日本政府が資金を拠出し、 世界銀行が管理しています。

JSDF アフガニスタン特別支援

2007年3月





# 日本社会開発基金

日本社会開発基金(JSDF: Japan Social Development Fund)は、世界銀行グループの支援対象となる加盟国の長期的な社会開発を助成しつつ、最も貧しく弱い立場にある人々に直接援助を提供する仕組みとして、2000年6月、日本政府と世銀により創設されました。JSDFのグラントの対象となるのは、貧困の緩和に即効性があり、非政府組織(NGO)やコミュニティの団体、シビルソサエティの直接参加を促進するイニシアティブです。

JSDF の主な目的は以下のとおりです。

- (i) 社会で最も貧しく弱い立場にある人々のニーズに直接応 える革新的なプログラムを支援すること。
- (ii) 最も貧しく弱い立場にある人々に、迅速かつ実証可能で 持続的な便益を提供すること。
- (iii) シビルソサエティ・現地コミュニティ・NGO について、キャパシティ・ビルディング、参加、エンパワーメントを促進すること。

# アフガニスタンにおけるJSDFの活動

2002年3月、日本政府は3年間の援助プログラムの下で

アフガニスタンにおける活動を支援すべく、JSDF内に特別な窓口を設置することで世銀と合意に達しました。この活動は、アフガニスタンの再建や、政治・経済・社会の安定に向けた移行を支援してきました。この特別支援は、プロジェクト・グラントとキャパシティ・ビルディング・グラントの両方で現在までに総額5000万ドル(58億9000万円)を提供しています。こうしたグラントは、農村部のアクセス改善や雇用、コミュニティ開発、零細事業の起業支援、金融、保健など多彩な分野に提供されています。

## 国家連帯プログラム

国家連帯プログラム (NSP) は、これまでで最大規模の取組みとして、歴史的に顧みられることのなかった農村部に権限を与えて開発しようとするものです。具体的には、農村部で選出された集団が独自に採択した小規模なインフラを構築するのにグラントを提供します。これは、全国34州、1300万人の村民の生活に影響を与えた唯一の政府プログラムで、不安定な治安状況や極めて険しい地形、対象の多くが識字率が特に低い遠隔地のコミュニティであるといった困難を乗り越えて達成されました。このプログラムは現在、さらに全国の4000のコミュニティを対象に拡大されています。

表1:実施中および終了したJSDFのプロジェクト		
プロジェクトの名称	署名日	グラントの総額
終了したプロジェクト		
NGO支援プログラム	2002年7月17日	200万ドル
国家連帯プログラム のためのキャパシティ・ビルディング	2002年11月27日	148万ドル
保健セクターの緊急再建および開発	2003年4月3日	50万ドル
		398万ドル
現在実施中のプロジェクト		
将来の零細事業の起業支援	2003年9月6日	280万ドル
アフガニスタン・ファースト・マイクロファイナンス・バンク	2003年11月18日	70万ドル
農村部アクセス改善のための全国緊急雇用プログラム	2004年8月28日	1960万ドル
緊急国家連帯プログラム	2005年4月10日	2590万ドル
		4900万ドル



## 国家連帯プログラムは、農村部の3人に2人の生活に 影響を与えました。

- ▶ 現在2万のコミュニティに地方行政の協議機関があります。
- ▶ 農村コミュニティの多くが独自に採択した小規模なインフラ・プロジェクトの恩恵を受けています。
- ▶ 人口の 28%が現在、飲料水や改善された下水道設備を 利用しています。
- ▶ 25%が利用する道路が改善され、市場に行ったり各種の サービスを受けたりしやすくなりました。
- 18%が改善された灌漑システムを利用しています。
- ▶ 16%が電気を利用しています。
- ▶ 児童の11%が再建された校舎で学んでいます。
- このプログラムはおよそ 4000 人のアフガニスタン人を雇用し、地方自治体職員 60 万人を対象に技能育成が行われました。

JSDF は NSP に対し、3 件で総額 2900 万ドルを拠出しています。2002 年にグラントを受けた NGO 支援プログラムが成功を収め、このときに採用されたアプローチがほかのプログラムの先駆けとなりました。以来、JSDF の基金はこのアプローチの試験的導入、コミュニティや実施パートナーのキャパシティ・ビルディング、そしてプログラムの拡充を支援しています。

NGO 支援プログラムには 200 万ドルの JSDF 資金が拠出され、アフガニスタンで初めて NGO と政府の運営面でのパートナーシップを確立しました。 NSP は、ここで得られた教訓に基づいて進められています。

## 農村部アクセス改善のための全国緊急雇用 プログラム

アフガニスタン政府 (GoA) は農村部のアクセス改善を重要な優先項目とし、2002年から農村部の交通インフラの再構築を促進してきました。この取組みは、政府の社会的保護ア

ジェンダの一環で、農村部の道路を再建すると同時に雇用を創出することをねらいとしたものでした。

JSDFが資金を提供する「コミュニティ・エンパワーメント緊急プロジェクト」の下で2002年から始まった「全国農村部アクセス改善プログラム」は、およそ8000キロに及ぶ農村部の道路を天候に左右されないで利用できるものへと修復し、3000以上の村々を都市の中心部と結びました。その結果、農村部の道路網は推定3万キロに達し、これまでに道路網の25%以上が再建作業によって維持可能な状態まで回復しました。このプログラムはまた、およそ1300万労働日分の雇用を創出しました。

JSDF はまた、1960 万ドルをこのプログラムの DDR & RLS (武装解除、動員解除、復員、および農村部の生活支援) 部門に割り当てました。JSDF の資金は、対象層の中でも特に恵まれない 2 つのグループー元兵士と農村部貧困層 – を対象に活用され、こうした人々の雇用機会や技能訓練、農村部のアクセス改善に大きく貢献しています。これまでに、元将校、元兵士、元戦闘員、そして農村部の貧困層合計 2188 人が工事現場監督や施工管理、工芸技能の訓練を受けています。

## 保健セクターの緊急再建および開発

「保健セクターの緊急再建および開発プロジェクト」は、影響の大きい基本医療サービスの提供範囲を拡大し、特に医療サービスが不足している農村部の女性や子供にも公平なアクセスを確保するのに役立っています。このプロジェクトによって、人口の82%が一次医療を受けられるようになりました。独立機関の評価によると、医療の質が大幅に改善し、医療サービスを受けた患者の数は3倍以上に増加しています。妊婦健診を受けた女性の割合は、2003年の5%から2006年は78%まで拡大しました。このプロジェクトはまた、医療の財政基盤拡大やパートナー間の調整、NGOの監督など、このセクターにおける公衆衛生省の役割を拡大するのにも役立っています。



JSDFはきわめて重要な段階にある新規事業にも支援を提供しました。このグラントの目的は、(i) 医療が十分でない地域で、NGOと体系的に協力できるよう公衆衛生省の能力を強化することにより、予防接種や妊婦健診、産児制限など基本医療サービスをより幅広く提供すること、(ii) 実績ベースのパートナー契約を確立して管理すること、(iii) 公衆衛生省の中央と地方事務所間のコミュニケーションを改善することにより、同省の組織能力を高めること、にあります。

このグラントはまず4人のコンサルタントに資金を提供しました。 この4人は、同省の契約管理部門の中心となり、同プロジェクトの効果的な実施に責任を負っている人たちです。このグラントはまた、NGOとの契約の枠組み確立に貢献した外国人コンサルタントにも資金を提供しています。さらに、州の保健医療局長を対象としたワークショップを支援し、現場で働く公衆衛生省の職員との連携を強化しました。このグラントは、同省自体の能力や、中央と地方事務所間のコミュニケーションの改善に大きな成果を上げています。

#### 将来の零細事業の起業支援

JSDF の支援により、労働社会問題省はアフガニスタンの3つのNGOと契約を結び、4つの州で学校に通っていない若者を対象にコンピュータの操作や大工仕事、電気工事、溶接、配管、理容の職業訓練を提供しました。このプログラムは12歳から28歳までの男女を対象としており、ファリャブ、カンダハル、カブール、マザールの4州でユースセンターの建設が完了しています。同省およびNGOによって現在、1万6680名以上の若者が職業訓練を受けています。

# アフガニスタン・ファースト・マイクロファイナンス・バンク(FMBA)

FMBAは、タリバン崩壊後に初めて認可されたマイクロファイナンス機関です。JSDFの資金は、貧困層や十分な融資を受けられない人々に金融サービスを提供するための当初のキャパシティ・ビルディングに充てられています。このグラントによって、FMBAは経営情報システム(MIS)を設置し、MISの利用を含む銀行業務の管理について職員に研修を施すことが可能になりました。

これまで融資を受けられなかった人々の利用は拡大しており、創業以来、FMBA は当初の目標を達成し、利益を上げながら、マイクロファイナンス・ポートフォリオの充実を通して融資がさらに利用しやすくなるようにしています。これまでに、1万3581件の融資(総額1960万ドル)が行われました。現在、FMBAの顧客の18%が女性ですが、グループ貸出し業務を増強することによって、女性の起業家による利用が今後さらに増えるものと予想されています。

このように同グラントは、競争が激化する同セクターを支援しています。現在、アフガニスタンで認可を受けたマイクロファイナンス機関としては、FMBAのほか、最大手のBRACアフガニスタンや、FMBAの最大のライバルと目されるFINCAなど、合計13行あります。ここ数年、マイクロファイナンス機関の増加や零細事業に融資を行う銀行が増えており、アフガニスタンの金融セクター拡大や民間セクター発展の大きな可能性を示すものとなっています。

#### ドナーおよび世銀について

JSDFの資金は、唯一、日本政府の拠出によるものです。 世界銀行グループおよびグラントの受益者は、日本政府ならびに同国民の皆様の寛大な配慮、そして貧困削減と効果的な開発援助という共通の理想に向けた取組みに対し感謝の意を表します。

世銀の活動の一番の焦点は、開発援助を通じて最も貧しい人々を支援することです。世銀は100カ国以上の途上国において、貧困を削減し公平かつ持続可能な発展を達成すべく、資金提供や技術協力を行っています。こうした国々で、世銀は官民両機関および非政府組織と協力して、援助戦略を策定・実施しています。

### 連絡先

世界銀行東京事務所 〒 100-0011 **東京都千代田区内幸町 2-2-2** 富国生命ビル 10F

電話:03-3597-6650 (代) ファックス:03-3597-6695 ホームページ: http://www.worldbank.org/japan/jp

